

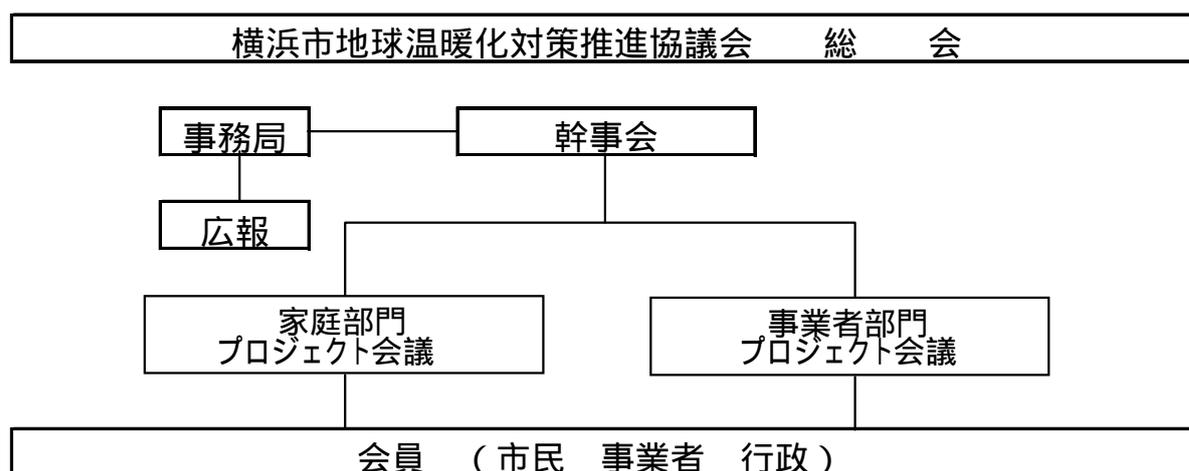
平成26年度事業報告

横浜市地球温暖化対策推進協議会は、「横浜市地球温暖化対策実行計画」に掲げた横浜市の温室効果ガス削減目標の達成等に向け、市民、事業者、行政が協働して地球温暖化対策の実践行動を促進し、もって地球温暖化防止に寄与することを目的とし、平成26年度は次の構成のもとに各種事業を実施しました。

1 構成

- (1) 会員数 153（平成27年3月31日現在）（平成26年3月末：177）
 内 訳 個人会員：70 学生会員：1 事業者会員：65 団体会員：17

(2) 組織



総会	本来の最高決定機関であり、予算・決算・事業計画などの重要項目を審議します。
幹事会	総会議案、総会での議決事項の実施に関することなどを審議します。
プロジェクト会議	会員に呼びかけて、プロジェクトを立ち上げ各事業を実施します。

2 会議開催状況

(1)総 会

開催日	場 所	概 要
平成26年 6月25日	横浜市技能文化 会館	議 題 平成 25 年度事業報告 平成 25 年度収支決算並びに監査報告 平成 26 年度事業計画(案) 平成 26 年度収支予算(案) 規約改正(案) 役員改選(案) 特別プログラム「地球温暖化対策・省エネ・節電取組み事例報告」

(2)幹事会

回	開催日	場 所	概 要
1	平成26年 5月28日	松村別館 5階会議室	25 年度の活動報告・決算報告・監査報告 26 年度事業計画・予算案 26 年定例総会次第・事例報告について
2	平成26年 10月29日	関内中央ビル 3 階会議室	平成 26 年度事業計画の確認と総会反省 平成26年事業活動報告 26年度幹事会の日程調整
3	平成26年 12月17日	松村ビル別館 603会議室	横浜市統括本部から、エネルギーアクションプラン意見募集・港北区灯りプロジェクト・スマすまカフェについて 平成 26 年度活動報告・計画、市との協定事業、プロジェクト活動について アドバイザーからのコメント
4	平成27年 3月2日	松村ビル別館 603会議室	平成26年度活動報告 平成26年度活動の成果・課題について 平成27年度活動へ向けた検討 今後のスケジュールについて

3 広報活動

ホームページにより、市民に地球温暖化対策推進協議会の活動、イベントの案内等情報提供を実施したが、HP上のCO-D030の修正等に多くの時間をとられ、HPの活用があまりできませんでした。

ホームページ以外では、メールや電話、FAX等を通じて新会員に会員の都合を聞き、事務所で会員のご希望を聞き、各チームへのお誘いを実施して、新会員の活動への参画を図りました。

4 脱温暖化行動啓発に係る協定事業

(1) 省エネルギー等の広報・PR

a. 区民まつり等のイベントでの省エネルギー等の普及

横浜市の各区が開催する区民まつり等に18回参加し、家庭で出来る省エネ・節電等について情報提供し、一般家庭における二酸化炭素削減の取り組みの必要性を約8000名の人たちにPRしました。

さらに、白熱電球・蛍光型電球・LED電球の対比装置を展示し、来場者に消費電力の違いを測定して見せて、LED電球への買い替え促進を図りました。また、台所油田プロジェクトとも連携して廃食油回収も実施しました。

特に港南区で実施した、「こうなん子どもゆめワールド」においては、港南区役所、実行委員会の協力を得て、「まつり会場で使用する発電機」「ガスボンベ」「搬入・搬出の車の移動」で排出される二酸化炭素を算出し、港南区内の家庭の廃食油を回収して、灯油と混ぜて重油の代わりに使用することで削減される二酸化炭素とカーボンオフセットする事業を実施しました。排出計算、当日会場にくる方たちの移動にかかる二酸化炭素の排出等について、東京都市大学の学生の協力を得ることが出来ました。(別紙こうなん子どもゆめワールド報告書参照)

さらに、各イベントにおいて、よこはまストップ温暖化！宣言「やっています」「やります」シートを配布し、自分でできる脱温暖化対策の行動実践の宣言をしていただきました。

結果、合計2342人が宣言シートによって脱温暖化対策の宣言を実施しました。(別紙参照)

プロジェクト会議および事前打合せ

開催日	開催場所	主な討議内容
平成 26 年 7 月 26 日	協議会事務所	今年度の方針、事業者との連携、区民まつりへの参加、実行計画学習会、宣言シートの見直しについて
10 月 7 日	協議会事務所	区民まつり日程、太陽光発電事業者との連携、メンバーの割り振り、機材の事前準備、集合時間等について
12 月 19 日	協議会事務所	実施報告書の作成・点検、機材搬入方法、電源の有無確認、26 年度の課題まとめ、イベント参加費用の精算について
9 月 2 日	港南区役所	こうなんこどもゆめワールド事前打合せ
10 月 9 日	港南区役所	こうなんこどもゆめワールド事前打合せ

イベント開催(18回開催)

出展日	イベント名	開催場所	来場人数
5 月 30 日・ 6 月 1 日	TVK 収穫祭	日本大通り・象の鼻	700
5 月 30 日 6 月 1 日、2 日	開港祭	臨港パーク	900
平成 26 年 7 月 26 日	南区民まつり	蒔田公園	250
9 月 28 日	磯子まつり	磯子区総合庁舎周辺	350
10 月 12 日	中区ハローヨコハマ	日本大通り	430
10 月 12 日	神奈川区民祭り	反町公園	350
10 月 18 日	金沢まつりいきいきフェスタ	金沢海の公園	200

＼	ほどがや区民まつり	県立保土ヶ谷公園	300
＼	港北ふれあいまつり	新横浜公園少年野球場	400
10月19日	旭ふれあい区民まつり	旭区役所第一駐車場	330
10月26日	瀬谷フェスティバル	上瀬谷通信施設のはらっぱ	450
11月1日	栄区民まつり	本郷中学校	250
11月1日	こうなんこどもゆめワールド	港南あれあい公園	450
11月2日	西区民まつり・くらしの広場	戸部公園	430
11月3日＼	青葉区民まつり	青葉区総合庁舎周辺	300
＼	都築区民まつり	センター北会場	250
＼	泉区民ふれあいまつり	和泉遊水地	320
11月29日	とつかエコフェスタ	戸塚区総合庁舎3階区民広場・多目的スペース	300



b. 風力発電とエネルギー関連施設の見学会の開催

横浜市が市民債で設置した風力発電所「ハマウイング」を広く市民にPRし、新エネルギーに対する市民の関心を喚起すると同時に、協議会の幹事である東京ガス(株)、東京電力(株)の協力を得て、エネルギー関連見学会を同時実施しました。また、横浜市内の30%以上の電力を供給している、磯子火力発電所の石炭火力を見学しました。1回50名の募集に対して、応募は毎回定員をオーバーし、事務局で抽選を行い当選、補欠、落選のハガキを発送しました。当日欠席もあり、3回の実施で参加者合計142名でした。

移動の車内では、協議会の紹介、横浜市の実施事業を紹介し、風力発電の説明はプロジェクトのメンバーが担い、塔内の説明は環境創造局の職員が実施しました。

また、エネルギー関連施設の会議室を借りて、家庭で出来る省エネミニ講座を実施し、家庭で取り組み出来る事の情報を提供しました。最後には「やっています」、「やります」宣言シートの記入等により、参加者の省エネ実践を促しました。

また、見学会の前後にグループ会議を開催し、役割分担や実施の反省会を行い、見学者の方により良い説明の仕方等を模索しました。今回は片道だけのバスの使用であったため、3回とも現地の下見に行き、帰りの足の確保の検討をしました。東京ガス㈱の協力により帰りはバスで送迎いただきました。

プロジェクト会議

開催日	場 所	概要
平成 26 年 10 月 15 日	東京ガス 根岸工場	見学会の下見
10 月 17 日	事務所にて	実施当日のスケジュール、役割分担等について詳細打ち合わせ
11 月 14 日	東京電力 川崎火力発電所	見学会の下見、打合せ
11 月 25 日	事務所にて	実施当日のスケジュール、役割分担等について詳細打ち合わせ
12 月 19 日	磯子火力発電所	見学会の下見、発電所副所長への挨拶と打合せ
平成 27 年 1 月 23 日	事務所にて	実施当日のスケジュール、役割分担等について詳細打ち合わせ

工場、発電所等の見学会実績

開催日	場 所	参加者数	内 容
平成 26 年 10 月 28 日	風力発電「ハマウイング」 及び東京ガス根岸工場	48	「ハマウイング」見学の後、東京ガス根岸工場を見学。移動中のバスの中で協議会、横浜市の取組等の PR 実施。東ガス工場内の会議室にて会社概要の説明を受け、2 班に分かれて工場内見学を実施。その後会議室をお借りして省エネ講座を実施。見学終了後、アンケート記入・回収を実施して、全行程終了。
11 月 27 日	風力発電「ハマウイング」 及び東京電力川崎火力発電所	48	「ハマウイング」見学の後、東京電力川崎火力発電所を見学。移動中のバスの中で協議会、横浜市の取組等の PR 実施。所内の会議室にて会社概要の説明を受け、班別に分かれて発電所内見学を実施。その後会議室をお借りし省エネ講座を実施。見学終了後、アンケート記入・回収を実施して、全行程終了。
平成 27 年 1 月 28 日	風力発電「ハマウイング」 及び磯子火力発電所（電源開発株式会社）	46	「ハマウイング」見学の後、磯子火力発電所を見学。移動中のバスの中で協議会、横浜市の取組等の PR 実施。所内の会議室にて会社概要の説明を受け、4 班に分かれて省エネ講座 PR 館 発電現場のコース別見学を実施。見学終了後、アンケート記入・回収を実施して、全行程終了。



(2) 横浜市の地球温暖化対策実行計画等学習会事業

横浜市の取組む、環境未来都市や横浜市地球温暖化対策実行計画を広く市民に知らせ、具体的実行を促す事を目的として、より市民に身近な区役所との連携による学習会の開催を実施しました。

あわせて、地域で活動する NPO、自治会・町内会等との連携もめざしました。

まずは、各区役所にご挨拶を兼ねて、企画書を持参してご相談に行きましたが、既に区での計画が進んでいる状況があり、いきなりその年に実施するのは難しい区もありました。

当初 8 か所での開催をめざしましたが、結果、実施出来たのは 5 か所にとどまりました。

しかし、27 年度につながる区も見えており、27 年度はもつと多くの区との連携が見込まれます。

区との連携の在り方は様々でしたが、2 年目実施の区においては、計画の中に入れて下さっていて、共催で実施することが出来ました。

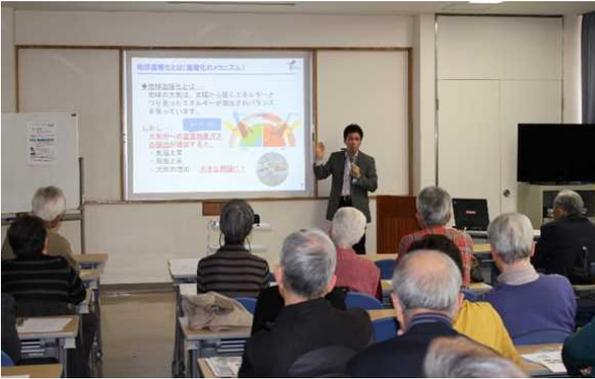
また、2 区で実施した講座では、4 名の方が協議会の会員に加入し、既に風力発電見学会等のスタッフとして協力してくれています。横浜市は広く、18 区もあり、より市民に身近な区との連携はとても重要であると実感しました。

プロジェクト会議

開催日	場 所	概要
平成 26 年 8 月 28 日	協議会事務所	区に依頼する企画、基本テーマについて打合せ
9 月 26 日	泉区社会福祉 協議会	泉区民まつり事務局長と講座開催について打合せ
10 月 5 日	神奈川区役所	神奈川区と共催について打合せ
10 月 16 日	青葉区区役所	青葉区と詳細企画案について打合せ
11 月 11 日	港北区役所	港北区と熊野の森もろおかスタイルと企画案について打合せ
11 月 19 日	戸塚区役所	戸塚区と開催日時・企画案について打合せ
12 月 11 日	協議会事務所	終了後、今後の開催区について確認

プロジェクト実績

開催日	場 所	概要	参加 人数
平成 26 年 10 月 31 日	泉区福祉保健 活動拠点	老人クラブ連合会での開催。地球温暖化対策に関する横浜市の取組み、家庭で出来る温暖化対策、廃食油の再利用について	6 0
11 月 13 日	神奈川区役所	神奈川県主催の連続講座「暮らし改造きっかけづくりセミナー」の二回目を担当。横浜市の温暖化対策、無理なく・無駄なく・快適に 10 万円得する冬の省エネ術と家電製品の測定体験	3 0
12 月 7 日	港北公会堂	「大人も子どもも楽しく学ぼう温暖化対策」というタイトルで、港北区役所と区内団体と連携して実施。省エネ実践を推進する大人向けのセミナー、ソーラーシェアリング、横浜市の取組み、冬の省エネ、太陽光発電・あかりプロジェクトについて講演した。また、同時並行で子ども向けにソーラーカー工作教室、自転車発電、ソーラーカー乗車などの体験等実施	大人 5 2 親子 3 0
平成 27 年 2 月 21 日	たまプラザ地 域ケアプラザ	地球温暖化の現状について世界と日本で今起きている事について東京都市大学中原教授が講演。横浜市の温暖化対策、家庭で出来る家計も得する省エネ講座を実施	1 9
2 月 28 日	戸塚地区セン ター	「知って学ぼう温暖化対策」キリバス共和国の報告を帰国直後のフェリス女学院大学佐藤教授が講演。横浜市の温暖化対策、家庭で出来る家計も得する省エネ講座を実施	4 3



(3)道志村森林整備普及事業

横浜市民の水源地である道志村を訪れる事によって、水源地の森林整備への市民の関心を高め、森林整備、間伐木材の有効活用に関する学びの場を提供することを目的として、「道志村見学・間伐体験」を実施しました。

平成25年10月14日、45名（公益財団法人横浜市資源循環公社、ウィメンズ・コミュニティと連携して実施、内協議会19名）が参加し、バス1台にて、横浜市民の水源地の里道志村を訪問。現地到着後、散策と間伐体験を実施。その後、間伐した木がどのように使われているかを学び、自分たちの水源地の里に関心を持ち、どのようにしたら水源地の里を守れるかの学習を実施しました。間伐体験・山林散策の案内については、現地で活動する道志・森づくりネットワークをお願いをしました。さらに道志村の職員との意見交換会を実施し、道志村の現状を学びました。その後切った木で沸かした道志の湯に入浴した後、帰路につきました。

移動のバスの中で参加者の自己紹介、横浜市水道局作成のDVD上映、協議会PRやミニ省エネ講座、アンケートを実施しました。

プロジェクト会議

開催日	場 所	概要
平成 26 年 11 月 7 日	協議会事務所	公益財団法人横浜市資源循環公社、ウィメンズ・コミュニティと、道志・森づくりネットワークの共に、企画内容、スケジュール、参加予定人数等の確認。
12 月 12 日	協議会事務所	役割分担、スケジュール、参加人数、当日配布資料等の最終確認。

プロジェクト実績

開催日	場 所	概要	
12月13日	山梨県道志村	2班に分かれて、散策と間伐体験を実施。間伐班は道つ木ーズのスタッフの指導でノギリの間伐を行った。山百合センターで昼食後、道つ木ズ中嶋氏から道志村の現状やバイオマスの郷づくりの説明を受け、意見交換を実施。帰りのバス中では、DVD上映や省エネ講座を実施した。	18



全体説明・班編成



間伐体験



間伐枝払い



道志村の説明

5 自主事業/プロジェクト活動

(1) 中小企業省エネルギー化支援事業

打ち合わせを行い、検討したが、開催に至りませんでした。

(2) 台所油田プロジェクト

栄区や港南区など10ヶ所の区民まつり等にて家庭の廃食油の回収コーナーを設置。事前告知を通して持参頂き、市民の方々から廃食油を回収しました。前田町町内会では、定期的に回収を実施し、また、こうなん子どもゆめワールドではまつりで排出される二酸化炭素を廃食油の回収でカーボンオフセットを実施しました、

台所油田プロジェクト 回収実績 報告書

	回収拠点	回収回数	回収量
イベントにて回収			
1	商店街活性化プロジェクトの一環として【和田町商店街(保土ヶ谷区)】	年4回(6年目)	年間【390L】
2	【区民祭り:栄、泉、金沢、磯子、神奈川、旭、瀬谷の各区にて】 特に栄区と金沢区では広報や回覧に掲載し、広く回収を求めた 港南区こどもゆめワールドにて、廃食油を回収して二酸化炭素をカーボンオフセット	各区、年1回(栄は4年目、その他の区は1~3年目)	各区合計【400L】 内訳:栄区 140L 港南区 210L その他 50L
3	【鶴見三ツ池フェスティバル】 アースグリーン鶴見と連携、広報活動	年1回(3年目)	今年度【120L】
イベントにて 合計【910L】 910L × 2.7kg-co2/L (重油排出係数・重油の代替え燃料として利用) = 2457kg の co2 削減となった			
自治会・町内会での回収			
1	【前田町・秋葉町自治会】	前田町内会館にて毎月回収	年間【280L】
2	【泉区グリーンハイムB】	毎月回収	年間【60L】
3	【旭区三反田町内会(小高+川島)】	年4回	年間【270L】
4	【栄区桂台自治会】	年1回(どんど焼きにて、6年目)	今回【150L】
自治会町内会にて 合計【760L】 760L × 2.7kg-co2/L (重油排出係数・重油の代替え燃料として利用) = 2052kg の co2 削減となった			
総合計【1670L】 1670L × 2.7kg-co2/L (重油排出係数・重油の代替え燃料として利用) = 4509kg の co2 削減となった			

(3)風力発電と資源循環局鶴見工場 親子見学会

風力発電見学会実施のおり、市民の方から子どもが参加できる日程で企画をして欲しいという意見が協議会と環境創造局にあり、環境創造局からもぜひ親子見学会の開催希望があり、温暖化対策の取組を模索していました、公益財団法人横浜市資源循環公社様のご協力も頂き、温暖化と 3R 夢の連携による見学会を実施しました。これからは温暖化対策と 3R 夢の連携は重要となる事と思われる良い企画でありました。

平成 27 年 3 月 27 日	風力発電「ハマウイング」 及び資源循環局鶴見工場	45 名	環境創造局、公益財団法人横浜市資源循環公社と連携して「ハマウイング」見学の後、資源循環局鶴見工場を見学して、省エネ講座、分別体験ゲームを実施した
---------------------	-----------------------------	------	--------------------------------------------------------------------------

(4) 26 年度会員交流会

25 年度実施出来なかった会員交流会を実施しました。

横浜市、事業者、市民団体、個人の会員の皆様が参加してそれぞれの報告の後、意見交換を実施した。丁度、横浜市が横浜市エネルギーアクションプランの検討を実施している時で、アクションプランについての意見も多数出て、意見交換が実施出来ました。

開催日時 2 月 1 0 日 火曜日 1 3 時 3 0 分 ~ 1 6 時 3 0 分

開催場所 公益財団法人横浜市資源循環公社会議室

- 内容
- ・会長と横浜市役所から挨拶
 - ・協議会の 26 年度中間報告
 - ・横浜市の取組み
 - ・企業の取り組みとして、東京電力
 - ・団体の取り組みとして、森ノオトと熊野の森師岡スタイル
 - ・個人の取り組みとして、サスティナブルあさひ
 - ・大学の取り組みとして、横浜国立大学

参加人数 62 名

(5)市川市地球温暖化対策推進協議会視察研修の対応

市川市地球温暖化対策推進協議会から 26 年度の視察について、横浜市地球温暖化対策推進協議会幹事との意見交換会及び横浜市の環境未来都市の視察依頼があり、横浜市との調整を実施しました。

視察先

- ・東京ガス(株)横浜ショールーム
- ・YSCP 展示施設(クロスパティオ)
- ・神奈川水再生センター

上記の視察に、横浜市温暖化対策統括本部と共に対応した。

また、昼食時に両協議会の意見交換会を実施した。

市川市地球温暖化対策推進協議会 会長・副会長・幹事等 25 名

横浜市温暖化対策統括本部 1 名

横浜市地球温暖化対策推進協議会 副会長・幹事・事務局長等 4 名